

第4回 医薬品関連ものづくりセミナー

富山県新世紀産業機構では「医薬品関連ものづくり研究会」の活動を通じて、産学官連携による県内ものづくり企業の医薬品容器・包装分野等における製品開発を支援しております。このたび、当研究会活動の一環として、医薬品関連ものづくりセミナーを開催いたします。ご多用中のこととは存じますが、何卒ご出席賜りますようご案内申し上げます。

平成31年 **2月6日（水）** 13:30～16:00

【会場】富山県民会館701号室（富山市新総曲輪4番18号）

【定員】30名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

【受講料】無料

【締切】平成30年2月1日（金）

【プログラム】

13:30～13:35 開会あいさつ

13:35～14:35

「消費者の立場に立った服薬補助具・医薬品包装とは？」

金城学院大学 薬学部 教授 大嶋 耐之 先生

超高齢化社会を迎えるなか、本邦では健康寿命の延伸が注目され、長く自立した生活が送れるような施策がすすめられている。しかし、加齢に伴い、身体機能、運動機能、嚥下能力の低下や理解力不足等から問題が生じ、これらはコンプライアンスの低下の要因となるとともに医薬品の適正使用の観点からも問題を呈している。

本講演では、服薬時の問題解決およびコンプライアンスの向上をめざし、ユニバーサルデザインを基にした、消費者ニーズに合った服薬補助具や医薬品包装の形態とは何かについてご講演いただきます。

14:35～14:45 質疑応答

14:45～15:00 名刺交換

15:00～ 個別相談（富山県民会館703号室）

※セミナー終了後に希望者を対象に「個別相談」の機会を設けます。講師・コーディネータ等とともに、各種相談や質問事項にお答えします。

【詳細は事務局までお尋ねください。】



講師の紹介：

京都薬科大学薬学部製薬学科を卒業され、その後は、同大学大学院薬学研究科修士課程を修了、さらに名古屋大学大学院医学研究科生理系医療薬学専攻課程を満了され、医学博士号を取得されている。

これまでに北陸大学薬学部講師、同大学薬学部助教授を経て、2005年より金城学院大学薬学部教授を務められている。現在は「医療現場におけるバリアフリーに関する研究」、「医薬品の適正使用に関する研究」、「セルフメディケーション推進に関わる研究」を研究課題とされている。8月には、ファーマテックジャパンに「在宅および老人ホームにおける高齢者の服薬状況からみたオーダーメイド服薬補助具の検討」を掲載されるなど、服薬時の問題解決およびコンプライアンスの向上に係る研究にも力を入れている。

【お申込み・お問い合わせ先】

主催 公益財団法人富山県新世紀産業機構 医薬品関連ものづくり研究会（担当:高橋）

〒930-0866 富山市高田529番地 e-mail : t.takahashi@tonio.or.jp

TEL 076-444-5636 FAX 076-433-4207